



2022年4月26日

WTTC グローバルサミットが閉幕 国内外から 1,200 人が現地参加、観光再開へ向けた協力強化で一致

(本リリースは4月22日にフィリピン政府から発表された発表文の抄訳です)

フィリピン観光省は、世界旅行ツーリズム協議会 (WTTC) の第 21 回グローバルサミットが4月20日~22日の3日間の日程を終え、閉幕したことを発表しました。また、同サミットの開催に伴う新型コロナウイルス感染者の発生はありませんでした。

マニラ マリオット ホテルを会場にハイブリッド形式で開催された今回のサミットには、世界のビジネスリーダー、政府閣僚、観光業界のディビジョンメーカーなど国内外の代表者が集まり、現地参加者の人数は当初見込みの 600 人を上回る 1,200 人に上りました。

一方、オンラインのバーチャルプラットフォームでは、最新の旅行トレンド、持続可能な投資の展望、再生可能な観光、パンデミック時代のシームレスな旅行などをテーマに、パネルディスカッションが行われ、約 10,000 人が参加しました。

ベルナデット・ロムロ・プヤット観光大臣は次のように述べています。

「参加者の入国/入場はスムーズに行われ、不満の声は聞かれませんでした。フィリピンは4月1日にすべての国から渡航者の受け入れを再開しており、今回 1,000 人を超える参加者を迎えて3日間のグローバルイベントを成功裏に開催できたことそれ自体が成果といえるでしょう」

WTTC 会長兼 CEO のジュリア・シンプソン氏は、「今回のサミットは、喫緊の課題を対面で議論しコンセンサスを得ることの重要性を、目に見える形で証明しました」と述べています。

WTTC グローバル・リーダーズ・ダイアログ・セッションでは、ステークホルダーが、いかにして旅行・観光業界が新型コロナウイルスに適応し続け、レジリエントに立ち直ることができるかを探りました。

シンプソン氏は次のように述べています。

「パンデミック後の障壁を取り除き、経済を開放し、健康データを活用しながらシームレスな旅行を実現するために、我々はまだやるべきことがあります。サステナビリティは、今回に限らず、今後の WTTC のサミットの主要なテーマでもあります」

閉会式では、次回の WTTC グローバルサミットが 2022 年 11 月 29 日~12 月 2 日に、サウジアラビアの首都リヤドで開催されることが発表されました。



フィリピン観光省について

フィリピン観光省は、フィリピンでの観光産業を普及、促進、発展させることを目的にしている政府機関です。日本国内でフィリピンの観光地や文化などを紹介する様々な観光誘致を行っています。

フィリピン観光省 公式サイト : <https://philippinetravel.jp/>

メディア向けフォトギャラリー : <https://philippinetravel.jp/gallery/>

Facebook :

It's More Fun in the Philippines

<https://www.facebook.com/PhilippineTravelJP/>

フィリピン政府観光省 大阪事務所 (旅行業界関係者向け)

<https://www.facebook.com/philippinetraveljpb2b>

Instagram :

<https://www.instagram.com/philippinetraveljp/>

Twitter :

<https://twitter.com/PhilTravelJP>

【本件の問い合わせ先】

共同ピーアール株式会社 フィリピン観光省 PR チーム : 大塚、白武

Email: dot-philippines-pr@kyodo-pr.co.jp